

20090730-abertis-01 事業分野と地域の多様化が上半期の成長の主因

| | |
|------|--|
| 掲載日 | 2009年7月30日 |
| 国名 | スペイン |
| 分類番号 | 有料道路経営 |
| 出典 | Abertis |
| タイトル | La diversificación sectorial y geográfica, claves de un semestre positivo para abertis |

コスト削減の徹底によるグループの成長モデルにより、不況の影響が軽減され、売上、営業利益、純利益が増加。第2四半期における各高速道路の交通量は安定

- ・ 売上: 18億4200万ユーロ(3.7%増)
- ・ EBITDA*: 11億4100万ユーロ(2.7%増)
- ・ ネットキャッシュフロー: 7億ユーロ(2.9%増)
- ・ 純利益: 3億3200万ユーロ(0.6%増)
- ・ 投資額: 9億1900万ユーロ

売上の50%とEBITDAの46%は外国で発生している。また、取引の26%は本業以外のものである。アベルティス(Abertis)は同四半期に事業拡大のため9億ユーロを超える投資を行った(主にチリとスペインにおけるイティネレ(Itinere)の事業と、地上デジタルテレビ放送の拡大)。これにより、事業分野と地域の多様化が進み、一方で資産の統合と強化も進むこととなった。アベルティスの負債は、健全性と安定性が特徴である。平均コストは0.6%低下している。

- ・ 負債の92%は長期負債で、72%は固定金利、またはヘッジにより固定された金利の負債、また56%はノンリコース型の負債である。優良なキャッシュフローと事業強化の推進により、アベルティスの格付けは業界最高のA-となっている。

アベルティス・グループの高速道路網全体では、第2四半期を通じて交通量が4%減少している。これは8.8%の減少に終わった第1四半期と比べてきわめて対照的な数字である。アベルティス・グループの高速道路網の半分を占めるフランスのサネフ(Sanef=フランス北部東部高速道路会社)の場合、5月と6月は交通量が増加している。

高速道路事業では、上半期の売上は13億6000万ユーロ(2%増)となっている。

- ・ サネフでは上半期の1日平均交通密度は2万2733台(1.8%減)、南米(チリとアルゼンチン)では上半期の1日平均交通密度は4万5834台(0.9%減)となった。

- ・ 交通量が急激に減少していたスペインでは、減少幅が緩和した。6月30日までのスペインでの1日平均交通密度は9.8%減の2万2707台。2008年の第4四半期は12.4%減、2009年第1四半期は17.1%減であった。

*訳注: EBITDA(Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息